

2011年12月22日

大学院文学研究科修士課程への推薦入学制度について
——文化構想学部・文学部3年次生の皆さんへ——

文学研究科

大学院文学研究科修士課程では、文化構想学部・文学部の学生を対象とした推薦入学試験を行っております。正式な2013年度推薦入学試験要項は2012年3月に公表されますが、ここに推薦入学制度の概要をお知らせします。

1. 推薦入学試験を実施するコース

2013年度入学試験において推薦入学試験を実施するコースは、下記のコースです。

- ① 哲学コース
- ② 東洋哲学コース
- ③ 心理学コース
- ④ 社会学コース
- ⑤ 日本語日本文学コース
- ⑥ ドイツ語ドイツ文学コース
- ⑦ ロシア語ロシア文化コース
- ⑧ 東洋史学コース
- ⑨ 考古学コース
- ⑩ 文化人類学コース

*各コースとも募集するのは「若干名」です。

*これらのコースは、9月の一般の入学試験も実施します。

2. 出願資格

推薦入学試験への出願者は下記のすべての条件を満たす必要があります。

- ① 出願時において2012年度卒業の見込みが立っていること
 - *休学や留学をしても出願資格はあります。
 - *延長生も出願資格はあります。
- ② 文学研究科への進学を第一志望としていること
- ③ 3年次修了時のGPAが3.0以上であること

GPAとは、A+評価を4、A評価を3、B評価を2、C評価を1、不合格科目を0として、それぞれに修得単位数を乗じ、その総計を不合格科目を含む総登録単位数で割った値です。その際、合・不合のみがつくP・Q科目と認定のN、卒業に必要な単位に含まれない科目は計算から除外します。

*現時点のGPAは、上記の算出方法を参照し、各自で算出してください。

*転部・学士の方は、転部・入学後の成績でGPAを算出してください。

3. 選考方法と日程

推薦入学制度においては、一般の入学試験と異なり筆記試験は行いません。書類選考と面接試験によって選考します。

2013年度の推薦入学試験は下記の日程で行ないます。具体的な日時等については

募集要項で発表します。

- | | | |
|---|-------------|-----------|
| ① | 2012年3月 | 募集要項を発表 |
| ② | 2012年6月 | 出願期間 |
| ③ | 2012年7月中～下旬 | 書類選考・面接試験 |
| ④ | 2012年7月下旬 | 合格発表 |

4. 推薦教員

文化構想学部の出願者は所属論系の専任教員に対して、文学部の出願者は所属コースの専任教員に対して推薦を依頼し、所定のフォームに簡単な「所見」を記入してもらう必要があります。

5. 研究計画書

出願に際しては、志望理由や修士課程での研究計画を記したものを提出する必要があります。求められる分量等はコースにより異なります。詳細は募集要項で発表します。

6. 大学院先取り履修科目

従来から、一定以上の単位を修得している4年次以上の学部学生は文学研究科の修士課程に設置されている科目を（その科目の担当教員の許可を得た上で）先取り履修することが可能です。この制度によって修得した単位は、学部での卒業所定には参入されませんが、修士課程に進学した場合には修士課程で修得しなければならない32単位の中に16単位まで算入されます（演習科目は除く）。なお、算入するためには、大学院入学後別途手続きが必要です。

推薦入学制度は、この先取り履修を推奨しています。推薦入学を考える人は、4年次4月の科目登録の時に、志望する大学院コースの科目の先取り履修を積極的に検討してください。なお、大学院の科目登録は学部の科目登録日程と異なります。詳細は「科目登録の手引き」等でご確認ください。

- ◎ 推薦入学制度の主たる狙いは、能力の判定においては学部での勉学の積み重ねを高く評価しつつ、学部在学中から大学院の側も関わりながら学部での勉学と修士課程での研究とを出来るだけスムーズに接続させていこうとする点にあります。したがって、上記コースへの進学に関心がある人に対しては、大学院文学研究科のコースに問い合わせて大学院科目の先取り履修などについて相談することをお勧めします。大学院の当該コース運営主任、またはコース室にお問い合わせください。

以 上

GPA の算出方法について

GPA とは、A+評価を 4、A 評価を 3、B 評価を 2、C 評価を 1、不合格科目を 0 として、それぞれに修得単位数を乗じ、その総計を不合格科目を含む総登録単位数で割った値です。

1. GPA 計算式

$$(A^+ \text{ 修得単位数} \times 4) + (A \text{ 修得単位数} \times 3) + (B \text{ 修得単位数} \times 2) \\ + (C \text{ 修得単位数} \times 1) + (\text{不合格科目単位数} \times 0)$$

総登録単位数(不合格科目を含む)

2. 対象科目

卒業算入科目でかつ評価区分が下表の算出対象に該当する科目。

◆評価区分

評価記号	算出対象	備考
A ⁺	計算対象 (合格科目)	
A		
B		
C		
F	計算対象 (不合格科目)	
G		
H		評価区分名称が「保留」の場合は、対象外とする。
N	計算対象外	
P		
Q		

※認定科目の取り扱いは、以下の通りとする。

A⁺、A、B、C、F、G、H(「保留」の場合を除く)で評価する科目 ⇒ 対象科目とする。

N、P、Qで評価する科目 ⇒ 対象外科目とする。

以 上